

岸本さんから聞いて

なぎさ小学校 五年三組 城 舞香

私は、今日、岸本さんの下人とのつながり
と防災。という話を聞いて、私は、自分のこ
とを、ふり返ってみました。

自分のことを、ふり返ってみると、いつも
水をだし、ばなしにしたり、せ、かく作って
くれたご飯を、いつも、
「まずい。」
と、言っ、て残したりしています。だから、今日

岸本さんに、震災の時は、
「ガスがストップして、水も出なかつた。」
と聞いて、いつも、私がしていることは、す
ごい、ざいたくなんだなあと思ひました。私
は、20才の、岸本さんが、すごく、かつ、こい
い人だなあと思ひます。

私は、この話を聞いて、昔、小学校を
阪神淡路大震災がおきて、岸本さんは、その
体験を生かして、スリランカや、ネパールの
人達などに、そういう防災について伝えてい

て、すごいなあと思いました。
私は、こういう学習を、実際にはあつてな
いけど、家族や、私が大人になった時に、
子どもに、教えたいなあと思、ました。
これからは、いつも、災害にそなえて、生
活したいなあと思、ました。